



# 七戸の 議会だより

2022年

NO. 70

令和4年11月1日発行

青森県七戸町議会

広報編集特別委員会



## おかえり(\*^-^\*)、ただいま\(^o^)/、修学旅行！

～七戸小学校6年生 37名・城南小学校6年生 23名～

9月16日、北海道函館方面から無事に帰ってきた七小・城南小の両校6年生。たくさんの思い出ができた3日間。この思い出には、たくさんの「くれた」ことがあったと思います。忙しいなか見送りに来てくれたこと、一日中天気を心配してくれたこと、体調が悪くなっていないか心配してくれたこと、帰ってきた姿を見て笑顔で出迎えてくれたこと…。さまざまところで大人からのたくさんの「くれた」に気づき、感謝できるきっかけに、修学旅行があるとうれしいです。

### 9月定例会

議会改革特別委員会 ～議員定数を考える～ ……	2～3
定例会の主な審議内容 ……	4～5
決算審査特別委員会 ……	6～7
「一般質問！その後」「教えて！にんに君」……	8～9
一般質問に4人登壇 ……	10～13
委員会の動き ……	14

# 議員定数を考える

「議会改革特別委員会」から、調査結果報告がありました。

議会改革特別委員会は、12月定例会で提出された動議「議員定数削減について3月議会までの期限として議会改革特別委員会付託の上、審議されたい」とのことについて、3月1日・8日、6月1日、7月12日の計4回にわたって調査検討がなされました。その結果が9月定例会最終日において、委員長から報告がありました。

## 議員定数について

現行の16人を考える

調査の過程では、本町の人口規模や財政規模・状況を基に、県内の議員定数、人口、面積、財政規模・状況など、多角的に調査研究を行い検討いたしました。まず初めに、全議員に「議員定数についてのアンケート調査」を行いました。13名が回

答、うち5名が現状のままという意見でした。その理由は、議員数を減らすと議会の力が弱くなる。多様性の低下。若者や女性の参画がさらに困難になる。町民の意見も聞かなければいけない。議会費の割合は、他自治体より低い。財政を考えるのから議員報酬を削減して対応すべき。定数削減は、コロナ終息後でよいという意見でした。

次に、2名減が妥当という意見が7名でした。理由は、人口比率から、人口減少に伴い議員数も減らすべき。費用削減。議員数が少なくても、議員活動により町民の声を拾うことは可能。議員数が減ることにより、議員の資質や真価が見えやすくなるという意見でした。

最後に、4名減らすのが妥当という意見が1名でした。町の人口を考慮してという理由でした。その意見を基に、3月1日、8日、6月1

日と計3回、七戸町の現状に見合った議員定数について協議を重ねました。

内容は、「現状の16名のまま」や「2名減の14名に」という意見のほか、「定数を決めるための根拠をきめるべき」、「前回、18名から16名に削減した経緯を踏まえるべき」など、たくさん意見が出ました。

そして7月12日、意見を集約するため、採決を行った結果、次期選挙（令和5年4月）においては、「現状の定数16名」とする、特別委員会の意見に達しました。

また意見集約後、この定数の問題については、継続して協議していかねければならないという意見や、今回のことを参考とし、選挙後の新たな議員で議会改革特別委員会を新たに設置して議論しなければならぬなどといった意見が出ていました。



議員報酬について

議員定数と報酬を  
考える

議員報酬は、議員定数を考える上で切っても切り離せない、とても重要な問題です。特別委員会のなかでも、自由意見として上がっておりました。議員報酬は、※地方自治法第203条第1項が支給の根拠となっています。今日、地方

”次期選挙（令和5年4月）においては、

「現状の定数16名」を委員会の結論とする“

これまでの話し合いを総括して、議会改革特別委員会の委員長報告は、次のとおりです。

『議員定数についての調査過程において、当町の人口規模や財政状況を基に、県内の議員定数、人口、面積、財政規模等、多角的に調査研究を行いました。その結果、次期選挙（令和5年4月）において、「現状の16名」と「定数を2名減の14名」の2つの意見について採決を行い、賛成多数で「現状の定数16名」とすることを委員会の結論とすることとしたので、議員各位におかれましては、御賛同いただきまますようお願い申し上げます。』

分権改革や地域主権改革が進み、地方自治体経営が複雑・高度化しているなか、自治体経営の一翼を担う議会の構成員である議員の活動も高度化・専門化しており、他の職をもつて議員活動をするのが非常に困難な状況となつてきています。

法的に議員報酬は生活給ではないとされているものの、現実には議員の専門職化が進んでおり、本来の議会の役割である多様な民意を自治体経営に反映するといった役割を果たしていくためには、ある程度の保証が必要ということが言えます。

昨年開催した議員研修では、町村議会議員のなり手不足問題として、東北大学大学院の河村准教授から「特に町村議会は深刻な問題、議員報酬も生活給的な発想がなければいけない」と話されていました。

これから議員定数を考える上で議員報酬についても調査検討が必要

要ということが見えました。

	議員数	令和2年国勢調査		令和元年度 決算状況 (千円)		
		人口	世帯数	歳出合計	うち議会費	割合
七戸町	16	14,564	5,443	10,734,013	106,000	1.0%
野辺地町	12	12,389	5,325	6,337,934	70,754	1.1%
六戸町	12	10,456	3,833	5,541,334	85,589	1.5%
東北町	16	16,441	5,868	11,825,661	109,693	0.9%
平内町	12	10,129	3,793	6,966,444	89,031	1.3%
藤崎町	14	14,578	4,960	7,807,514	87,782	1.1%

※地方自治法第203条第1項議会の議員は、職務を行うため要する費用に対し、議員報酬を支給しなければならぬ。

# 9月 定例会

## 主な審議内容

### 議案

○七戸町職員の育児休業等に関する条例の改正  
地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正により、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするため、所要の改正をするものです。  
☆全会一致で可決

○土地売買契約の締結  
旧天間館中学校グラウンド跡地の一部用地について、普通財産賃貸借契約を締結している「社会福祉法人 天寿園会」と土地売買契

令和4年第3回定例会は9月6日に開会し、白石洋議会運営委員長の報告の  
とおり、会期を13日までの8日間と決定しました。  
6日は、町長の提案理由説明、7日は一般質問（4人）、9日・12日は決算  
審査特別委員会、最終日の13日は議案審議を行いました。  
提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決し閉会しました。

約を行うため、地方自治法及び町条例の規定により提案するものです。  
☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結  
（荒熊内地区公共駐車場舗装新設工事）  
荒熊内地区公共駐車場舗装新設工事契約のため、議会の議決を求めらるるものです。  
☆全会一致で可決

○令和4年度補正予算  
（下表参照）  
☆全会一致で可決

○令和3年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定  
（6頁7頁参照）  
☆全会一致で可決

### 報告

○令和3年度決算に基づく七戸町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告  
☆報告

○令和3年度七戸町一般会計継続費精算報告書の報告  
☆報告

○七戸町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和3年度事務事業分）に関する報告  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、報告するものです。  
☆報告

### 諮問

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
人権擁護委員に小原勇作氏を推薦するため  
☆全会一致で同意

### 発議

○地方財政の充実・強化に関する意見書の提出  
賛成15人 反対0人  
☆可決

### 特別委員会報告

○付託案件の審査結果  
「議員定数削減について、3月定例会までを期限として、議会改革

特別委員会付託の上、審査されたい一件について、令和5年4月に行われる次期選挙は、「現状の定数16名」とする委員会の結論とした。



（詳細は2頁3頁参照）

## 令和4年度 9月補正予算

区 分	補正額	予算総額	
一 般 会 計	1億8,190万1千円	123億0,695万4千円	
特 別 会 計	国民健康保険	▲4,488万7千円	17億7,193万1千円
	後期高齢者医療	475万4千円	4億3,868万0千円
	介護保険	3,445万8千円	27億7,860万1千円
	公共下水道事業	1,219万2千円	5億1,350万1千円
	農業集落排水事業	0千円	8,035万1千円
水道事業会計	収益的収入	289万4千円	3億6,229万8千円
	収益的支出	351万4千円	3億1,358万2千円
一般会計補正予算（歳入の主なもの）			
・地方交付税	4億0,232万9千円（普通交付税）		
・国庫支出金	3,407万8千円（新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金）		
	3,638万4千円（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）		
	1,343万5千円（新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金）		
一般会計補正予算（歳出の主なもの）			
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	6,000万0千円（プレミアム商品・飲食券発行事業負担金）		
・土木費	6,000万0千円（除雪作業業務委託料）		

第1回

臨時会

令和4年7月12日

議案

○工事請負契約の締結

(七戸小学校グラウンド改修工事)

七戸小学校グラウンド改修工事契約のため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結

(荒熊内地区公共駐車場整備工事)

荒熊内地区公共駐車場整備工事契約のため、

☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結

(昭和橋橋梁補修工事)

昭和橋橋梁補修工事契約のため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○工事委託に関する協定の締結

(公共下水道七戸浄化センターの改築工事委託に関する協定)

公共下水道七戸浄化センターの改築工事委託に際し、随意契約を締結することに、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○工事委託に関する協定の締結

(特定環境保全公共下水道天間林浄化センターの改築工事委託に関する協定)

特定環境保全公共下水道天間林浄化センターの改築工事委託に際し、随意契約を締結することに、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

○物品購入契約の締結

(七戸町営スキー場圧雪車購入)

圧雪車購入契約に際し、公募型プロポーザル方式により選定された優先交渉権者と合意に達したため、議会の議決を求めるものです。

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

○令和4年度一般会計補正予算(第4号)

1億8111万円を追加し、総額を121億2505万3000円とするものです。

☆全会一致で可決

○令和4年度七戸霊園事業特別会計補正予算(第1号)

83万6000円を追加し、総額を908万3000円とするものです。

☆全会一致で可決

報告

○専決処分事項の報告

・自動車損傷事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて

☆全会一致で承認



定例会・臨時会での主な感染症対策

- ・会議室入出時の手指消毒、マスク着用
- ・ドアや窓を開放しての会議室の換気
- ・傍聴者に感染症対策への協力を要請
- ・風邪症状がある場合の会議出席自粛



※但し、議長が許可する場合はこの限りではありません。

ことばのヒント！意見書って??

学生：私たちの身近な問題！例えば、税金や社会福祉、産業振興など、国が決めていることが多いですよ。

先生：確かに！国の制度に基づいて、町が業務を行っているものは多いです。町が町民のために実施したい事業があっても、国の制度が変わらないとできないってことも多いですね。

学生：国の協力が必要な場合、町議会ですることってあるのですか？

先生：もちろん！地方自治法には、地方議会が国に対して「意見書」を提出することができる」と規定されているから、町議会は、意見書の提出により国に七戸町の課題を知らせて対応を促します。

学生：意見書は、どのように決定されるのですか？

先生：国に対する要望が必要と判断された場合、委員会で意見書(案)が検討。議案として本会議に提出され、本会議で議決となります。それが町議会としての決定事項として国に意見書として提出されます。

学生：でも…？意見書を提出しただけで、本当に国の施策に反映されるのですか？

先生：確かに、町議会の意見書が実際に国の政策に反映されるかどうかは…。でも、地方自治法には、地方公共団体の全国的連合組織が、総務大臣を通じて内閣府に意見を申し出たり、国会に意見書を提出することができ、内閣はそれに遅滞なく回答することに努めることと規定されています。なので、全国町村議会議長会を通じて、国政の施策に着実に反映させる方法もあります。

学生：Good jobですね！

令和3年度決算額

区	分	収入	支出	差引残額
一	一般会計	11,906,804,826円	11,465,736,588円	441,068,238円
特別会計	国民健康保険	1,858,674,634円	1,800,842,509円	57,832,125円
	後期高齢者医療	443,917,753円	434,223,993円	9,693,760円
	介護保険	2,719,620,796円	2,644,321,078円	75,299,718円
	介護サービス事業	5,131,636円	4,582,093円	549,543円
	七戸霊園事業	7,534,852円	6,721,421円	813,431円
	公共下水道事業	426,260,723円	421,582,751円	4,677,972円
計	農業集落排水事業	67,750,314円	67,081,507円	668,807円
	水道事業会計収益的収支(税抜)	319,054,586円	272,878,416円	46,176,170円

# 令和3年度 各会計歳入歳出決算

一般会計歳出総額  
114億6,574万円の使い道  
7特別会計・水道事業会計を

**認定**

令和3年度の一般会計、特別会計の決算を審査する決算審査特別委員会（田島政義委員長）が9月9日、12日に開かれました。審査の結果、全て可決となりました。委員から出された質疑の一部（一般会計のみ）を要約してお知らせします。

## 決算審査 特別委員会報告



委員長  
田島 政義



副委員長  
二ツ森 英樹

9月議会に提案された令和3年度一般会計・特別会計の決算認定は、審査の精度を高めるため、議長を除く全議員をもって構成した決算審査特別委員会を設置し、担当部署から説明を受け慎重審査をいたしました。

その結果、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策等、多くの質疑がありました。厳しい財政状況の中でも健全かつ適正に予算が執行されていることを確認し、原案のとおり認定しました。

### ○歳入

寄付金について

岡村 茂雄 委員

ふるさと納税において人気のある返礼品は。

答 仁和 総務課長

人気の品目は、「金子フアーム NAMIKI和牛ステーキ」、「あづま 冷凍長芋」、「LOCO・SICKI ブッラータチーズ」などです。

（仮称）七戸町総合アリーナ新築工事費について

問 佐々木 寿夫 委員

当初予算より大幅に減額になっている理由は。

答 田中生涯学習課長

当事業費は、継続費として計上しています。決算額は、令和3年度分の出来高、約2%分の実績額です。

新型コロナウイルス感染症対策費について

問 三上 正二 委員

新型コロナウイルス終息後、町の将来の経済対策等は。

答 金見企画調整課長

「ウイズコロナ」、「アフターコロナ」に特化したプロジェクトチームは立ち上げていませんが、新型コロナウイルスに対するいろいろな事業を実施するにあたり、町内の関係機関、庁内の関係課等と十分に話し合いながら実施しています。

### ○歳出

移住支援金及び結婚新生活支援事業費について

問 山本 泰二 委員

決算額0円の理由は。

答 金見企画調整課長

どちらの事業も対象者がありませんでした。

空き家・空き地利活用事業費補助金について

問 佐々木 寿夫 委員

補助金の内容は。

答 金見企画調整課長

町に登録されている物件1件の売却があったため、購入者に対し補助したものです。

成年後見制度町長申立手数料について

問 佐々木 寿夫 委員

申立ての件数は。

答 三上介護高齢課長

1件です。

監査委員意見書



代表監査委員 吉川 正純

審査に付された各決算は、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、計数において誤りがなく、法令規則に基づいて適切に処理されているものと認められました。

総括的な意見として、より一層の効率的な行政効果を挙げるよう、次のように指摘しました。

①近年は異常気象に伴う自然災害が激甚化している。過去の震災・風水害等を教訓とし、災害に強いまちづくりに取り組んでいただきたい。

②昨今の社会情勢は大きく変化をしており、行政マンとしての習慣や前例に捉われず、チャレンジ精神をもって改善・改革に取り組むことが

できるよう、計画的な人材育成に努力されたい。

③自主財源である町税の確保は、自治体運営に必要不可欠である。納税の利便性向上に資する取組みを工夫されているが、引き続き収納率の維持に努力されたい。

④各種要望に対する補助金交付にあつては、「効果の見える化」や「他の事業等との連携」を検討し、所管課で費用対効果の検証を適切に行われたい。

⑤歳計現金及び各基金については、安全かつ有利に管理されているが、引き続き管理には万全を期するよう努めつつ、より一層、有効に活用できるように工夫を図られたい。

⑥町の課題解決と魅力を創出していくためには、地域と行政が協働のまちづくりを促進することで、豊かで活力ある地域社会の実現を目指していただきたい。

財政健全化・経営健全化判断比率については、その基準を下回っていることを確認しました。

出産祝金について

問 所 対象者数は。 清悦委員

答 佐々木

こどもみらい課長 54人です。

令和2年度より約1億円減っている理由は。

問 井上保健福祉課長

令和2年度までは、七戸病院の経常収支改善のために、東北町と七戸町

で4年間、操出基準外の特別負担金を支出しておりました。

七戸米販売促進負担金について

問 田嶋輝雄委員

輸出来の今後は。

答 小又町長

現在、町独自で販売しているものはありません。これは、国の輸出補助金がなければ難しいため、要望はしております。

町単独でというのとはとても難しいため、今後も農機具メーカー等と提携をしながら販売先を開拓していきたいと思っております。

問 三上 正二委員

内容は。

答 原子農林課長

ハウスの機器の交換です。このハウスは、農家等への貸付をしておりますが、管理、機器、ビニルなどは町の負担ということになっております。

道路維持修繕工事費について

問 附田 俊仁委員

道路の停止線が消えているところが多くみられるが。

答 鳥谷部建設課長

停止線、横断歩道等は、県の公安委員会の管轄です。だいぶ薄くなつてきているところもありますので、公安委員会に陳情して対応していただきたいと思います。

中止にしたことによるものです。

問 南公民館費

用地購入費について

問 小坂 義貞委員

内容は。

答 田中生涯学習課長

面積は288平方メートル。場所は南公民館の東側です。用途は冬場の堆雪場所等に使用するためです。

放課後子ども教室等講師謝礼について

問 附田 俊仁委員

内容は。

答 田中生涯学習課長

子どもたちの放課後対策として行っているもので、書道、英会話、軽スポーツ等、会計年度任用職員がコーディネーターとして行っております。

コミュニティ助成事業費補助金について

問 中野 正章委員

内容は。

答 金見 企画調整課長

宝くじ助成事業の一環で、1町内会と1常会に交付しています。

農業施設・加工研修センター工事について

問 三上 正二委員

内容は。

答 原子農林課長

ハウスの機器の交換です。このハウスは、農家等への貸付をしておりますが、管理、機器、ビニルなどは町の負担ということになっております。

農業施設・加工研修センター指定管理業務委託(債務負担分)について

問 三上 正二委員

施設の方向性は。

答 原子農林課長

指定管理業務委託は、3年間、来年度までとなっております。その後については、計画ではありませんが、ローズカントリーは廃止。バラ園は残す。あの周辺を一体的な観光施設として考えております。

要保護及び準要保護生徒援助費(学用品費等)について

問 中野 正章委員

当初予算より大幅に減額になった理由は。

答 鳥谷部学務課長

令和3年度は、コロナの感染状況を考慮した結果、中学校の修学旅行を

# 町政に生かされているか！ 一般質問、その後……



## 議員主導による 政策論議の効果は！



一般質問は、議員主導による政策論議です。  
今回は、令和4年第1回(3月)定例会での  
一般質問において、「検討する」と答弁した事項  
についての進捗状況をお知らせします。

**質問者** 山本 泰二議員

運動を促すきっかけとして、運動を行った場合にポイントを付与し、景品や優遇などということも考えられます。運動施設の利用や健康行動等に対し、NANAカードのポイントを付与する考えは。



**答弁**

運動するきっかけとして、運動施設利用や健康行動等

に対し、NANAカードでポイントが付与する方法も一つの手段かと思えます。しかし、現状ではNANAカードの町民への普及状況を考えて、なじまないものがあるのではないかと思っています。町では広報等により、生活習慣病対策として日常生活でも取り組みやすいウォーキングなど、取り組みやすく持続できる運動を促し、町民の健康増進を図ってまいりたいと思えます。そしてポイントですが、世を挙げてポイントという時代になっています。議員おっしゃるように健康に特化した、若い人も高齢者も興味を持って楽しく取り組める、そういった新たな健

康ポイントの新設もいいのではないかと考えておりまして、担当などに検討させていきたいと思えます。

**進捗状況(保健福祉課)**  
新たな健康ポイントの創設について、県内市町村の先行事例の収集や事業の方向性、事業を新設するにあたっての実務における課題・問題点等と関係各課と協議中。



### 「教えて！ にんに君」コーナー

皆さん、こんにちは。議会についての？をにんに君が毎回わかりやすく解説していきます。

#### Vol.8 「町議会の動きをわかりやすく ～Web版 しちのへ議会だより～」

七戸町議会が発行している広報誌「しちのへ議会だより」を御覧いただきありがとうございます。町民の皆さんには、年4回お届けしているほか、町のホームページにも載せています。

URL <http://www.town.shichinohe.lg.jp/gyosei/gikai/gikai/>

「しちのへ議会だより」は、本会議や委員会など、町議会の活動状況を皆さんに広くお知らせし、町議会に対する理解と関心を高めていただくため、3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会ごとに次のとおり発行しています。

3月定例会⇒5月1日、6月定例会⇒8月1日、9月定例会⇒11月1日、  
12月定例会⇒2月1日

毎号、町議会で話し合われた内容や結果(条例や予算などの審議)、議員から町政に対する質問と町の答えなどをお知らせしているほか、3月定例会では予算審査の内容、9月定例会では決算審査の内容をお知らせしております。

ぜひ、「Web版しちのへ議会だより」も御覧ください。



町のホームページでは、過去の議会だよりも閲覧できるよ。



議会事務局  
QRコード



# 住みよいまちづくりのために 町政のここが聞きたい

## 一般質問



「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であり、年4回の定例会で行われます。質問する議員も受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要であるため通告制※が採用されています。議員が行財政全般にわたり、事務の執行状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策の確認、変更、是正、あるいは新規の政策を採用させる目的と効果があります。

※通告制とは、発言等をする場合、あらかじめ議長に対し発言要旨などを記載した文書を提出することです。

9月定例会では、4人の議員から8項目21件の一般質問がおこなわれ、自殺予防対策や災害に強いまちづくりなどについて、活発な議論が展開されました。

ページ	質問者	主な質問項目
10	佐々木 寿夫 議員	<p>◎自殺予防対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の自殺者数及び町の自殺者数は。</li> <li>・町の予防体制は。また、悩みを抱え困っている町民への体制は。</li> </ul> <p>◎七戸町ひとり親家庭等医療費助成制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町のひとり親家庭等医療費助成制度の対象者数は。</li> <li>・町のひとり親家庭等の医療費を無料にできないか。また、現物給付できないか。</li> </ul>
11	山本 泰二 議員	<p>◎文化財の保護、活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町指定の文化財について、指定数及び管理状況は。</li> <li>・古文書、書籍、文献、芸能等の調査、分類及び管理等の状況は。</li> <li>・町の文化財を管理する施設の検討状況は。</li> <li>・町の文化財の活用をどのように進めていくか。</li> </ul> <p>◎災害に強いまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害による被災状況の推移は。</li> <li>・被災時の対応は。</li> <li>・障がい者、高齢者の避難を町で支援できないか。</li> <li>・今後の災害の頻発化、激甚化に向けての対応状況は。</li> </ul>
12	向中野 幸八 議員	<p>◎犬の飼養状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬を飼うにあたり、どのような申請が必要か。また、令和4年8月現在の届け出数は。</li> <li>・飼い主が不明によるトラブルや問題があったか。また、現在の問題やその対応は。</li> <li>・今後の管理の一環として、マイクロチップ装着に関し、補助金等の考えは。</li> </ul> <p>◎中央公園の遊具について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具選定にあたり、懇談会やアンケート等を活用した情報収集がある。選定の方法は。</li> <li>・遊具新設の計画は。</li> </ul> <p>◎国際交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の町の国際交流活動状況は。</li> <li>・今後の交流の見通しについて。</li> </ul>
13	市 清悦 議員	<p>◎小中学校教員の労働環境の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校教員の過酷勤務の状況が伝えられている。負担が増えた主な原因は。</li> <li>・負担を減らすために、どのような対策が効果的だと考えているか。</li> </ul>

# 佐々木寿夫 議員



## 町のひとり親家庭等の医療費を無料にできないか。また、現物給付できないか

### 町長

子育て支援という大きい大義のもとに、ひとり親の医療費無料化に向けて準備を進めていきたい。現物給付についても、当然そうなると思う

議員  
青森県の自殺者数は。また、町の自殺者数は。

### 自殺予防対策について

昨年、青森県は自殺死亡率が全国1位となり、町の自殺死亡率も依然として高く推移しており深刻な状況が続いていると言えます。国において自殺対策基本法を平成28年に改正、当町においても自殺対策計画を策定しているが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛や収入減による自殺者の増加が懸念される。誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現、予防の体制をしっかりとさせることが急務です。

町長

令和元年は、青森県214人、七戸町2人。令和2年は、青森県256人、七戸町2人。令和3年は、青森県284人、七戸町5人となっています。また、令和4年1月から7月までの自殺者の数は、青森県125人、七戸町0人、昨年同時期と比較して町では3人の減ですが、近年の傾向としては県同様に増加の傾向にあります。

議員

町の自殺予防体制はどうなっているか。また、悩みを抱え困っている町民に対する町の体制はどうなっているか。

町長

町の予防体制は、町内の小学校4年生を対象とした「こころの健康教室」や青森大学の教授を講師とした「ゲートキーパー研修会」の開催、毎年、ストレスの大きい年代である40歳、45歳、65歳、70歳を対象に、「こころの健康診査」を行い、受診や面接が必要と思われる方には、保健師より電話連絡による説明を行っている。

議員

町のひとり親家庭等医療費助成制度の対象者数は。

### ひとり親家庭等医療費助成制度について

議員

町のひとり親家庭等医療費助成制度の対象者数は。

町長

令和3年度末、親157人、子供226人となっています。

議員

ひとり親家庭の経済状況は。

町長

平成26年青森県ひとり親家庭等実態調査によると、ひとり親世帯のうち、年間収入100万円以下の母子世帯が15.4%、100万円から200万円の母子世帯が50.9%、あわせて全体の7割弱を占めています。収入が少ない理由として、子育てと仕事の両立が難しいことから、非正規雇用の割合が高く、給与や待遇面で不利であることが考えられます。

議員

町のひとり親家庭等の医療費制度の内容は。

町長

この制度は、母子・父子家庭の18歳までの子どもと、その親が医療機関を受診した際の自己負担額を助成するものです。子どもの場合は、自己負担の全額を現物給付、親については、窓口申請していただくことで1カ月に1医療機関で支払った自己負担のうち1000円を超えた分を償還払いしています。

議員

### この制度の給付実績は。

町長

令和3年度実績で、子どもが約560万円、親が約320万円の給付となつて

議員

町のひとり親家庭の経済状況を鑑みると、ここ数年の新型コロナウイルスにより、仕事が非常に少なくなっていることなどから考え、親の自己負担額を町で負担し、ひとり親家庭等の医療費を無料にできないか。

町長

ひとり親家庭の特徴として、就労する割合は非常に高いものの、収入が低く、経済状況は非常に厳しいと認識しています。さらには、新型コロナウイルス感染症により、働く環境が不安定となり、収入が減少するなど、今後も影響が続くと思われる。以上ことから、議員御提案のとおり、子育て支援という大きい大義のもとに、ひとり親の医療費無料化に向けて準備を進めたいと考えています。現物給付についても、当然そうなると思います。今回は、子育て支援という大きな大義のもとに進めていきたいと思っております。

# 山本 泰二 議員



## 七戸町は文化財が多数存在する「歴史の町」。今後の活用は

### 教育長

指定・未指定に関わらず、ニツ森貝塚館で展示活用する。今後も、展示公開により活用を進める

#### 文化財の保護、活用について

**議員**  
町には、歴史、遺物などさまざまな文化財があります。分野ごとの指定数、その管理状況は。

**教育長**  
町指定文化財は21件あります。内訳と管理ですが、有形文化財が8件、うち4件が町管理、4件が民間管理となっています。次に無形民俗文化財が10件、全てが民間管理となっています。最後に天然記念物が3件、うち2件が町管理、1件が民間管理となっています。

**議員**  
町指定文化財及び指定外の文化財に古文書、書籍、

文献等がまちには多数存在すると考えられます。これらについては、逸失、離散を防ぐため、早急に対応する必要がありますと考えますが、現在、そういったものの調査、分類、管理等は。

**教育長**  
町全体における調査等は行っていない。一部ではありますが、個人の方から譲り受けた歴史的な価値があると思われる書籍等については、文化交流センターで保管しています。

**議員**  
昨年4月に開館した、ニツ森貝塚館は、縄文遺跡に関する資料館に位置づけられると考えるが、町の文化財全体に対する資料を保有展示しているわけではありませぬ。旧七戸地域には、七戸城、縄文晩期、その後の遺跡や文化財が多数存在します。こういった文化財を管理する資料館の設置を求める声は大きいと思います。設置の検討状況は。

**教育長**  
現在、文化交流センター内に保有している文化財の多くは、埋蔵文化財包蔵地

から出土した、土器や石器です。今後も引き続き、当該施設にて保存・管理を考えています。

**議員**  
町には、有形無形のさまざまな文化財が多数存在する、いわば「歴史の町」です。文化財を町の発展に活用することは当然であり、今後の活用は。

**教育長**  
指定文化財となっているものは、公開活用することにしていきます。各所にある指定文化財には、説明看板を設置しています。室内展示できるものは、指定・未指定に関わらず、ニツ森貝塚館で展示活用することにしていきます。また、観光パンフレットでも紹介しており、今後も展示公開などにより、活用を進めていきます。

**議員**  
近年、国内では、特に風水害が多発、激甚化しています。昨年、今年と町も住

#### まちづくりについて

#### 災害に強い

民に避難の警告を出しました。近年の町の自然災害による被災状況の推移は。

**町長**  
当町の自然災害、特に風水害による被災状況については、大量の雨に対して排水機能が追いつかず、処理しきれない雨水で、道路や農地等が冠水するほか、土砂流出や斜面災害が増加傾向にあります。また、昨年8月の大雨災害では、天間林地区において243世帯にも及ぶ断水が発生しました。これは、河川の異常増水による濁水により、浄水施設への取水が不能となったことによるものです。

**議員**  
自然災害発生時、町では農作物への影響が大きいと考えられます。被災した農家にとどのような援助を行うでしょうか。

**町長**  
農地の復旧に関しては、国の災害復旧事業を活用し、農業者の生産意欲を低下させることのないよう速やかに行うこととしているほか、農作物被害による収入面の減収については、農業者

が加入する収入保険で対応していただいております。なお、町では、収入保険への加入促進を行っており、現在、保険料の一部を補助しています。

**議員**  
町では、災害発生時及び警告発出時には、避難所を開設しています。防災無線、広報車なども用いて、避難の呼びかけも行っています。避難所への移動が煩雑で避難した方は少なかつたと思います。特に高齢者や障がい者は、移動が容易ではなく、自宅にとどまりがちであると思います。こういった被災弱者の避難を町で支援できないか。

**町長**  
町は、「七戸町災害時福祉避難所開設・運営マニュアル」に基づき、高齢者・障がい者など、要配慮者にたいして、天間林保健センターをはじめ、町と社会福祉法人等が協定締結した社会福祉施設12施設を「福祉避難所」として開設することとしています。「福祉避難所」への移送は、町職員等で構成する要配慮者支援班により行います。

# 向中野幸八 議員



## 中央公園の遊具新設の計画は

**教育長**

古いもので20年を超える物もある  
現在の利用者ニーズに即さない遊具もあると思う  
計画的な整備や更新を図っていく

### 犬の飼養状況について

**議員**  
犬を飼うにあたり、どのような申請が必要か。また、令和4年8月現在の届け出数は。

### 町長

犬の登録には、所有者の情報及び犬の名前や犬種、性別、毛色等、必要事項を記入して申請するとともに、登録手数料3000円が必要です。届け出登録数は、七戸地区466頭、天間林地区429頭、合計895頭です。

### 議員

町道、県道、国道4号等において、犬の死骸を目にします。また、迷子犬の防

災無線を耳にします。今までに飼い主がわからない犬に関するトラブルや問題、また、現在抱えている問題とその対応は。

### 町長

飼い主のマナーが向上していることから、飼い主がわからない犬に関するトラブルや問題は、特に発生していません。道路における犬等の死骸処理については、道路維持担当者や保健福祉課において、迅速に死骸の回収を行っています。また、鑑札のない迷子犬の実状は、役場において数日間保護をし、飼い主が見つからない場合は、殺処分となります。

### 議員

未届けの犬を把握するのは難しいと思いますが、事故につながることも考えられます。今現在飼っている犬へのマイクロチップ装着に関しては、努力義務となつていますが、今後の管理の一環として、マイクロチップ装着する際に、補助金等の考えは。

### 町長

マイクロチップを装着するメリットは、身元確認が

できる、動物遺棄に対する抑止力、また、飼い主不明による殺処分を減らすことにつながることを期待されます。マイクロチップを装着する際は、動物病院によつて異なりますが、装着費用として数千円と登録手数料が必要となります。現時点において費用を補助することは考えていませんが、この制度の推移を見守っていきたくと考えています。

### 中央公園の遊具について

### 議員

安全を第一に考慮し、選定した遊具であると思えます。遊具選定にあたり、地域住民懇談会、町民アンケートなど、情報収集の方法はいろいろありますが、選定の方法は。

### 教育長

合併前の旧天間林村において、(仮称)天間林村ふれあい公園基本設計の策定前に、各種団体の代表者及び各種委員との検討会、児童生徒による「天間林ふれあい公園」アイデア大会でのアンケートなどを基に選定したものです。

### 議員

遊具は、事故が起これないよう、細心の注意が必要です。安全で安心して楽しく遊べる遊具でなければなりません。現在設置してある遊具には、人気のある遊具とそれほど利用されていない遊具があります。また、老朽化により安全面の観点から撤去した遊具もあります。遊具新設の計画は。

### 教育長

古いもので20年以上も前の物もあり、中には現在の利用者ニーズに即さない遊具もあるかと思えます。新たな遊具の設置・更新については、利用者ニーズの把握に努めながら、財源の確保とともに、計画的な整備や更新を図っていきます。

### 国際交流について

### 議員

青森県のホームページで「市町村の姉妹都市等提携状況」が公表されています。これによると20の市町村が、教育、文化、芸術などさまざまな分野で特色を生かした交流を行っています。当町は、1994年11月から

友好提携をしていますが、その経緯は。

### 教育長

合併前の旧天間林村において、平成6年に韓国河東(ハドン)郡議会と提携し、平成14年度まで双方の中学生の往来による交換交流を実施しました。

### 議員

ここ数年、「コロナ禍もあり、計画した交流事業も出来ない状況にあると思えますが、交流事業は、貴重な経験、体験ができ、成長過程においても重要だと考えています。今後の交流の見通しは。

### 教育長

これまで実施してきた諸外国との往来による交流事業は、当面の実施は難しいものと考えております。教育委員会では、昨年度、外国人講師による、ネイティブな英語に触れることを目的としたイングリッシュキャンプを町内で実施しています。これまで実施してきた諸外国との往来による交流から、異文化交流を中心とした事業に展開していきたいと考えています。

清悦 議員

小中学校教員の労働環境の改善について  
部活動を受け持つ教職員の負担軽減は



教育長

文部科学省では「部活動指導員」の配置事業を推進。教育委員会としても、配置を検討し、教職員の多忙化解消に向け取り組みたい

小中学校教員の労働環境の改善について

議員

町教育委員会では、教職員の時間外の勤務時間をどのように把握しているか。また、当町小中学校教員の直近の月平均残業時間と学校で終わらせることができなかつた業務を家に持ち帰ることがあるか。

教育長

毎月、各学校から個人ごとの勤務時間記録簿を提出していたことで把握しています。

令和4年4月から6月までの管理職を除いた教職員一人当たりの残業時間ですが、4月は約26時間、5月は約23時間、6月は約28時

間です。

業務の持ち帰りですが、正確な情報は把握していませんが、勤務時間内で終わることができなかった業務は、家に持ち帰ることもあると聞いています。

議員

一人の教員が受け持つ児童生徒数が減少傾向であるのに対し、教員の負担が増えた要因は。

教育長

平成28年度に文部科学省が実施した「教員勤務実態調査」の結果から、小学校では、授業の準備をする時間、成績処理、学校行事の業務負担、中学校では、授業の準備等に加え、部活動やクラブ活動の業務負担が主な要因ではないかと思われ

議員

部活動を受け持つ教職員の負担軽減は図られているか。

教育長

町では町費負担による教職員を配置し、学級担任や部活動の顧問を担当するな

ど、県費負担教員の負担軽減につながっていると考えています。また、文部科学省では、教職員の業務負担軽減を図るため「部活動指導員」の配置事業を推進しています。町教育委員会としても、先進地の事例を参考に「部活動指導員」の配置を検討し、教職員の多忙化解消に向けて取り組みたいと考えています。

議員

教職員の負担を減らすために、どのような対策が効果的かについて、町費負担教員の配置によってどのような効果があったか。

教育長

町費負担の教員が担当している業務は、県費負担教員と同等の業務を行っていることから、通常の授業や部活動、学校行事の実施など、学校運営全般にわたる業務の負担軽減が図られているものと考えています。過去には、県の基準では1学級であるところを町費負担教員の配置により2学級にし、少人数学級とすることもでき、教員が児童生徒に対し、よりきめ細やかな

議員

2学期制と夏休みの短縮の取り組みについての教育長の考えは。

教育長

町内の学校では、天間林小学校と七戸小学校が2学期制を導入しています。そのメリットとしては、学校行事の効率化や通知表作成の回数が減ることにより、教職員、児童生徒双方に時間的、精神的余裕が生まれます。また、始業式、終業式などの行事が減ることで、教員の業務負担軽減が図られるとともに、必要な事業時間を確保できることが挙げられます。導入については、学校長の方針、判断により決定し、教育委員会への届け出により実施されますが、保護者の十分な理解が得られることが必要不可欠であります。

夏休みの短縮については、夏休み期間中は、各学校において保護者面談や教職員研修などが実施されています。現時点では、夏休みの

短縮は考えていませんが、先進地の成功事例を参考とし、各学校長からの意見を集約したいと思えます。

議員

教員の負担を減らすための対策は。

教育長

令和3年度から「ICT支援員」を各学校へ派遣する事業に取り組んでいます。これは、ICT環境機器を活用した授業を支援するため、週1日「ICT支援員」が各学校に常駐、授業の補助や端末の操作指導など、教職員を支援し、業務への負担軽減を図っています。そのほか、児童生徒や保護者からの相談、苦情へ対応するため、「スクールソーシャルワーカー」の配置や、「特別支援教育支援員」、「学校生活相談員」、「英語教育コーディネーター」を配置し、教職員の負担軽減を図っています。今後においても、学校内の各業務につき、適材適所の人材を配置することが教職員の業務負担軽減につながるものと考えています。

町では町費負担による教職員を配置し、学級担任や部活動の顧問を担当するな

# 委員会の動き

## ◎総務企画常任委員会

開催日 令和4年8月19日  
 案件 ①9月定例会の各課懸案事項  
 ②令和3年度滞納状況及び不納欠損  
 (町税、国民健康保険税、介護保険料)  
 内容 ①各課長より懸案事項の説明を受け協議した。  
 ②税務課長より説明を受け協議した。

## ◎建設産業常任委員会

開催日 令和4年8月22日  
 案件 ①9月定例会の各課懸案事項  
 ②令和3年度滞納状況  
 (住宅使用料・水道及び下水道使用料)  
 内容 ①各課長より懸案事項の説明を受け協議した。  
 ②建設課長及び上下水道課長より説明を受け協議した。

## ◎文教厚生常任委員会

開催日 令和4年8月26日  
 案件 ①大雨災害等の現地視察  
 内容 ①8月2日～3日にかけての大雨による災害箇所の視察

開催日 令和4年8月23日  
 案件 ①9月定例会の各課懸案事項

②令和3年度滞納状況  
 (奨学資金貸付金・後期高齢者医療保険料)  
 内容 ①各課長より懸案事項の説明を受け協議した。  
 ②学務課長及び町民課長より説明を受け協議した。

## ◎議会運営委員会

開催日 令和4年8月25日  
 案件 ①9月定例会の会期日程等について  
 内容 提出議案について、総務課長及び財政課長より提出議案等の説明を受け審査した。  
 ・一般質問通告書について、4名の質問内容を審議した。  
 ・陳情等の取り扱いについて、陳情3件を資料配布することにした。  
 ・会期について、日程を審議した。  
 ・決算審査特別委員会の運営方法について、運営方法を審議した。  
 ・議員派遣について、派遣することにした。  
 目的 新庁舎建設に向けての議論に備えるため、先進的な庁舎建設をした自治体の視察。  
 場所 岩手県宮古市ほか

## ◎議会改革特別委員会

開催日 令和4年7月12日  
 案件 ①議員定数について  
 内容 七戸町の現状に見合った議員定数について調査検討した。(結果は、2頁3頁参照)

## 県下町村議会議員研修会

演題 「今後の政局・政治展望」  
 講師 政治ジャーナリスト 田崎 史郎 氏

去る7月13日(水)に県下町村議会議員研修会がリンクモア平安閣で行われ、本町の議員12名が出席しました。講師の田崎氏は、大学卒業後、時事通信社に入社。田中角栄元総理が率いる田中派を担当するなど、政治取材は40年余り。現在は、テレビ等でコメンテーターとして活躍されています。講演では「参院選の争点」を例にあげ、「物価高、ウクライナ侵攻に端を発した安全保障、社会保障と多々あるが、一番の問題は年金問題。物価高とあわせて日常生活に直結する年金減額の問題がクローズアップされていないことに危機感を感じている」など話があり、今後の地方議会の役割について貴重な研修会となりました。



## 編集後記

どうしたら町民の皆様に興味や関心を持ってもらい、読んでもらえるのか。表現や字句等に誤りがないかなどを考へて、「議会だより」を編集し発行しています。字数が多すぎないか、文章は長すぎないか、見出しは適当か、写真はどこに入れたら良いかなど、当委員会では衆知を結集しています。

### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 山本 泰二
- 副委員長 佐々木 寿夫
- 委員 小坂 義貞
- 委員 二ツ森 英樹
- 中野 幸八
- 向野 正章

今号は、議会改革特別委員会の報告、決算審査特別委員会など、いつもより多い内容です。町民の皆様から飽きられずに読んでもらえるよう編集しました。(佐々木)